

# 週間漁海況情報 2024年第42号

令和6年10月15日発行

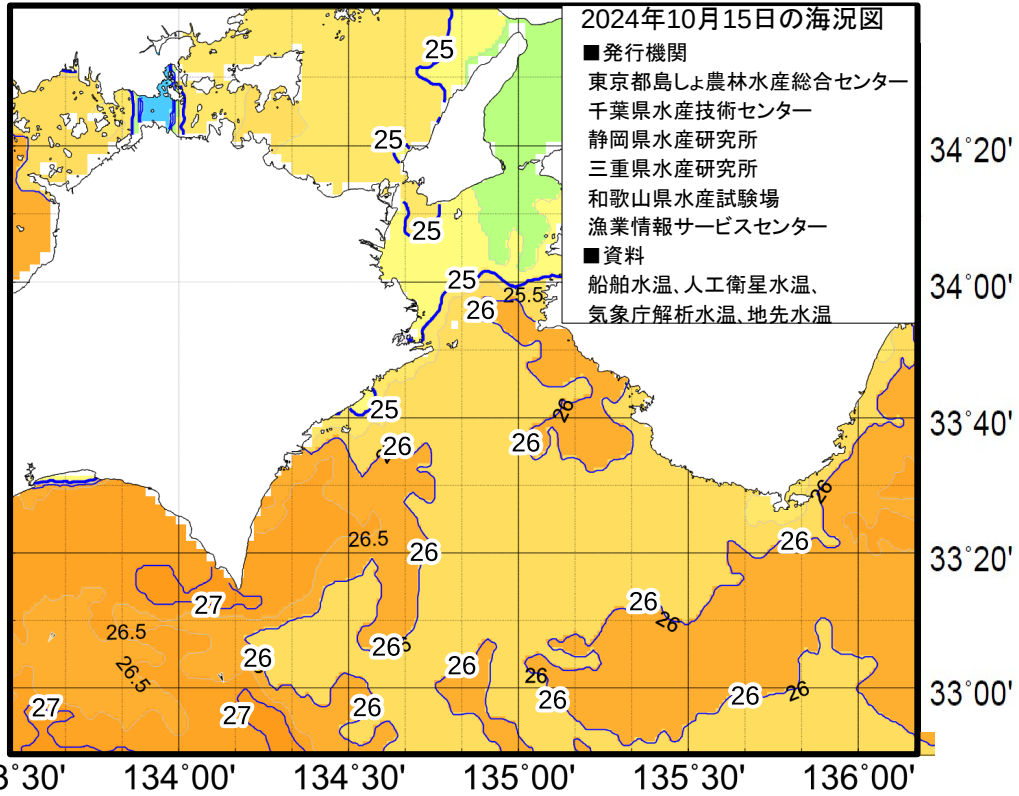
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課海洋生産技術担当

## 海況

### 1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖75マイル付近、潮岬沖120マイル付近を流れ、室戸岬、潮岬とも「著しく離岸」している。先週と比べて、室戸岬では約15マイル、潮岬では約25マイル離岸した。

黒潮の表面水温は26～28℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で24～25、紀伊水道、海部沿岸で24～26℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～  
 潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

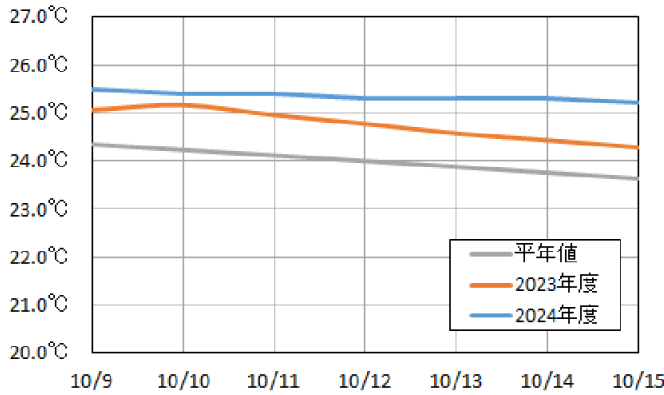
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

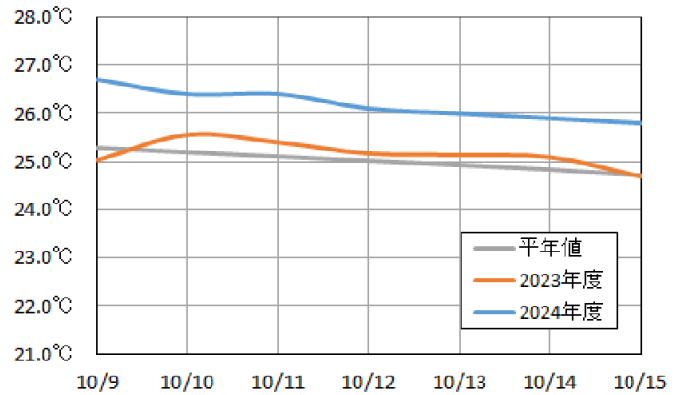
### 2. 地先水温(10月9日～10月15日)

鳴門地区の水温は、25.2～25.5℃で「やや高め」から「高め」、浅川地区は、25.8～26.7℃で「やや高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は0.6～1.2℃で、先週と比べて広がった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満  
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

### 3. 週間予報(10月16日～10月22日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「離岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区、浅川地区とも「やや高め」で推移する見込み。

**漁況** (10月7日～10月13日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 4)

船びき網では、シラスが大きく減って1ト水揚げされた。

延縄では、あまだい類が0.9ト、サワラが大きく減って0.4ト水揚げされた。

底びき網では、イボダイが3.2ト、えそ類が大きく減って0.7ト、かます類が増えて0.7ト、

いとより類が大きく減って小主体に0.7ト、クマエビが大きく減って0.5ト、

ハモが大きく減って中主体に0.4ト水揚げされた。

建網では、カワハギが大きく増えて大主体に1.2ト、メジナが大きく増えて0.4ト水揚げされた。

小型定置網では、マルアジが減って小主体に0.6ト、マアジが大きく減って小主体に0.5ト、

カンパチが減って大主体に0.3ト、ブリがめじろ級主体に0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

釣りでは、カツオが大きく増えて特大主体に4.1ト、キハダが大きく増えて1.7ト、

シイラが増えて0.3ト水揚げされた。

延縄では、あまだい類が減って0.4ト水揚げされた。

建網では、カワハギが大きく増えて0.6ト水揚げされた。

**漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)**

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	12	シラス	972	81		↘↘
		延縄	53	あまだい類	906	17	
	16		サワラ	386	24		↘↘
	底びき網	16	イボダイ	3,193	200		→
		16	えそ類	728	46		↘↘
		17	かます類	717	42		↗
		16	いとより類	706	44	小主体	↘↘
		16	クマエビ	480	30		↘↘
		16	ハモ	446	28	中主体	↘↘
	建網	116	カワハギ	1,235	11	大主体	↗↗
		67	メジナ	410	6		↗↗
	小型定置網	11	マルアジ	574	52	小主体	↘
		13	マアジ	533	41	小主体	↘↘
		10	カンパチ	284	28	大主体	↘
11		ブリ	240	22	めじろ級主体	→	
海部沿岸	釣り	4	カツオ	4,131	1,033	特大主体	↗↗
		13	キハダ	1,697	131		↗↗
		8	シイラ	250	31		↗
	延縄	14	あまだい類	408	29		↘
	建網	76	カワハギ	592	8		↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘